

弘前市学校給食審議会 令和3年度第1回会議資料②

学校給食における食育活動について

令和3年8月25日
弘前市教育委員会学務健康課

1. 食に関する指導

文部科学省が食に関する指導の手引で示す各学年ごとの指導目標に基づいて、小学1年生から中学3年生に対して、給食センター栄養教諭や栄養士が学年単位やクラス単位で授業を行っています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校に出向いて行う食の指導が十分に実施できませんでした。そのため、学校現場でのオンラインの環境を整備し、今年度2学期からはこれまでの対面指導に加え、オンライン指導の開始も予定しています。

【令和3年度 食に関する指導内容一覧】 ※別添参考資料参照

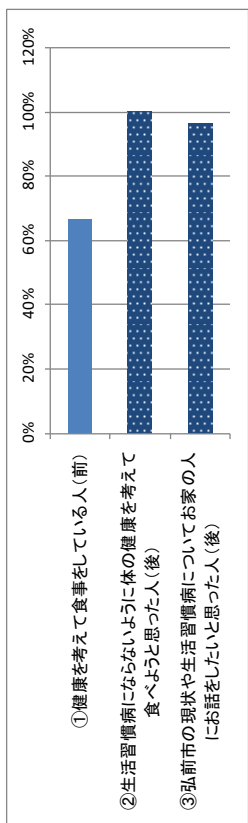
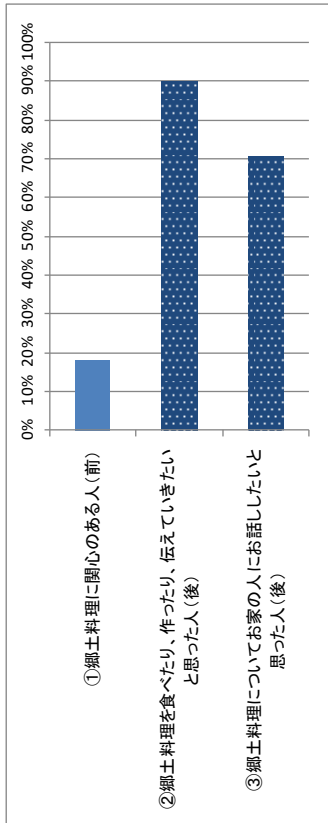
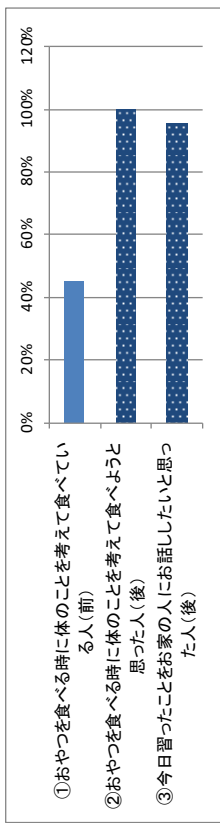
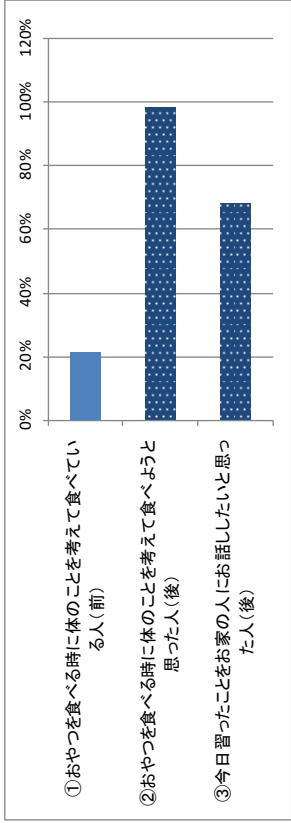
対象	題 材	対面	リモート	内 容	所要時間
小・中学校	食物アレルギーについて		○	食物アレルギーや給食時の対応について知る	20 分
小学校 1 年	食事のマナーについて知ろう		○	食事のマナークイズ、箸の持ち方実技を行う	45 分
	正しい手洗いをしよう	○		(クラス単位向け) 手洗い照射機使用 手洗い実技を行う	45 分
小学校 2 年	給食を大切に食べよう	○		給食の食べ方や後片付け、給食に関わっている人について考え、好き嫌いせず感謝して食べようとする心を育てる	45 分
小学校 3 年	おやつを上手にとろう		○	おやつの役割や目安量を知る	45 分
小学校 4 年	朝ごはんについて考えよう		○	朝ごはんをしっかりと食べるための工夫を考える	45 分
小学校 5 年	ふるさとの食材・郷土料理を大切にしよう	○		(グループ活動) 青森県の食材や郷土料理について考え、大切にしていこうとする態度を育てる	45 分
小学校 6 年	サンタマリアⅡ号に乗って旅に出よう	○		(グループ活動) サンタマリアⅡ号で仮想の航海をしながら、限られた食材から料理を考える	60 分
	病気の予防	○		(グループ活動) 体育(保健領域) 生活習慣病予防のために食生活を見直す	45 分
中学校 1 年	成長やスポーツと食事について考えよう	○ 50 分	○ 10 分	食事の役割、スポーツと食事の関係について知る	50 分
中学校 2 年	生活習慣病の予防について考えよう	○ 50 分	○ 10 分	保健体育(保健分野) 生活習慣病について知り、調和のとれた生活と健康について考える	50 分
中学校 3 年	学力向上と食事について考えよう	○ 50 分	○ 10 分	学力アップの食べ方を知り、朝食について考える	50 分

【指導実績】

年度	実施学校数	延べ時間	延べ人数
平成29年度	41校	330時間	10,369人
平成30年度	41校	356時間	10,519人
令和元年度	41校	345時間	10,255人
令和2年度	33校	158時間	4,710人

令和2年度 食に関する指導実施調査結果

学年	題材名	人数	質問1(指導前)	質問2(指導後)	質問3(指導後)
2年	おやつをじょうずにとろう	117	①おやつを食べる時に体のことを考えて食べている人(前)	②おやつを食べる時に体のことを考えて食べようと思った人(後)	③今日習ったことをお家の人にお話したいと思った人(後)
		割合(%)	25 21.37%	115 98.29%	80 68.38%
		児童の変容等	・おすめのおやつを意識してたべるようになったそうです。 ・おやつについて家庭でも話題にしたり、自分で食べるおやつについて話したりして意欲的に考えていました。 ・事後指導教材の前でも同士でおやつについて語り合う場面もありました。 ・おやつに砂糖や塩、油が含まれていることを改めて知り、食べ方に気を付けようとしている子が増えた。 ・子どもたちは、自分のこれまでのおやつを取り方を振り返ることで問題点に気づいたようです。		
3年	おやつをじょうずにとろう	22	①おやつを食べる時に体のことを考えて食べている人(前)	②おやつを食べる時に体のことを考えて食べようと思った人(後)	③今日習ったことをお家の人にお話したいと思った人(後)
		割合(%)	10 45.45%	22 100.00%	21 95.45%
		児童の変容等	・「おやつを勉強をしたよ」と家の人に内容を話したり、「カロリーをチェックするようになったよ」と話したりする児童が増えました。 ・ペットボトルのお茶とジュースに使われている砂糖の量が載っているポトルを見て、次の日「あまり飲まないようにしよう」と思ってお母さんに伝えたと話していました。実際のものをたくさん見せていただいたことで、子どもたちもよりイメージ化が出来ていました。 ・食育後、おやつは家族で分け合って食べているという子がいました。		
5年	ふるさとの食材や郷土料理を大切にしよう	139	①郷土料理に関心のある人(前)	②郷土料理を食べたり、作ったり、伝えていきたいと思った人(後)	③郷土料理についてお家の人にお話したいと思った人(後)
		割合(%)	25 17.99%	125 89.93%	98 70.50%
		児童の変容等	・県産の特産物、食材だけでなく、地方ごとの郷土料理や食文化に触れることができ、子どもたちにとっても新鮮な話題でした。 ・知っているようで知らないことがあるんだなあ郷土料理についてわかりやすく学ぶことができました。献立のお知らせを見て「あ！」と、いろいろ学んだことを発見して、友達と共有していました。 ・子どもたちの郷土料理は「いがめんち」「けの汁」位でしたが、今回の授業を通して郷土料理の視野がぐんと広がったと思います。 ・給食で郷土料理が出る度に関連ある話をしていたつもりですが、今日の授業では広い視野で見ていくことができたと 생각합니다。授業を通し、郷土料理を伝えてきた人の「知恵」や「思い」を新たに受け止めることができました。 ・保護者の中にも意識している人が結構いることが分かった。		
6年	病気の予防	27	①健康を考えて食事をしている人(前)	②生活習慣病にならないように体の健康を考えて食べようと思った人(後)	③弘前市の現状や生活習慣病についてお話をしたいと思った人(後)
		割合(%)	18 66.67%	27 100.00%	26 96.30%
		児童の変容等	・学習したことで、栄養の取り方などについて意識が向上したようです。 ・苦手なメニューも少しずつ食べてみようという子が増えました。		



2. ふるさと産品給食の日

市では、国の食育月間である6月と県産食材が豊富に出回る11月に「ふるさと産品給食の日」を設け、県内で収穫される食材を多く使用するとともに、給食センターから各小・中学校へチラシを配布し、生産地の情報や料理について紹介しています。

(例) 令和3年度6月

弘前市東部学校給食センター (2021.6 小学校)

ふるさと産品給食の日



6月は「食育月間」です。
青森県では、青森県でとれた食べものを多く使った給食の日を「ふるさと産品給食の日」としています。
どんな食べものがあるのか確認しながら味わって食べましょう。



青森県学校栄養士協議会
食育推進キャラクター
あぶにん

6月21日(月) こんだて

- ・ごはん
- ・ぶた肉しょうがやき
- ・だいこんのあえもの
- ・せんべい汁
- ・りんごゼリー
- ・牛乳

● **だいこんのあえもの**

青森県産のだいこん、きゅうりを使用した和え物です。

● **ぶた肉しょうがやき**

青森県で育てられたぶた肉を使用しています。

● **牛乳**

青森県産の牛乳です。

● **りんごゼリー**

弘前産のりんごを使用しています。

● **ごはん**

弘前産の給食用青天の霹靂を使用しています。

● **せんべい汁**

青森県産のとり肉、キャベツ、ねぎ、ごぼう、切干だいこんを使用しています。







毎月「献立のお知らせ」を児童生徒へ配布していますが、余白スペースを活用し、食育情報を掲載しています。季節に合わせた食に関する情報や郷土料理の紹介、箸の持ち方、手洗い方法など様々な内容を掲載することで、食に関する知識の向上を図るほか、ご家庭でも気軽に食に関する話ができるような内容を心掛けています。

[illegible]

4. 食育に関するイベント

【PR展示イベント 食育フェスティバル in ヒロロスクエアの実施について】

食に関する様々な知識を育むとともに、子どもから大人まで正しい食習慣・食生活を理解し実施してもらうことを目的に、「食育フェスティバル in ヒロロ」が開催されており、これまでに12回実施されております。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、例年通りの開催は見送りとし、次年度の「食育フェスティバル」に向けたPR展示を実施しました。学校給食関連では、栄養教諭等による食育活動や学校給食の歴史の展示を作成し、紹介しました。

テーマ	PR展示イベント 食育フェスティバル in ヒロロ～ヒロロ食育広場～
日時	令和2年1月18日（月）～令和3年2月19日（金）
場所	ヒロロスクエア 3階 コミュニケーションゾーン
主催	ヒロロスクエア賑わい創出委員会、弘前市食生活改善推進委員会、弘前市駅前こどもの広場
協力・特別協力	弘前市（健康増進課、りんご課） 弘前市教育委員会（学務健康課、東部・西部学校給食センター、生涯学習課、中央公民館）、東北女子短期大学、弘前医療福祉大学／短期大学部 弘前大学COI研究推進機構
展示内容	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起き朝ごはん！こどもの頃から身につけよう健康習慣 ・りんごの効能とおいしい食べ方 ・「減塩」「だし」を利用したレシピ ・野菜を1日350グラム食べよう！高血圧を予防しよう！ ・栄養教諭、学校栄養職員による食育活動の紹介、学校給食の歴史紹介 ほか

（展示物）

